

ルーム・トゥ・リード アニュアルレポート2015

1000万人の子ども達への 旅路とその先



Room to Read®



親愛なる皆様へ

昨年、ルーム・トゥ・リードのカンボジアにおける女子教育プログラムに参加した少女が私たちのリーダーシップ・チームにこう言いました。「私にとって教育は酸素です」この言葉を聞いた私は、今まで取り組んできたことが正しかったと確信

しました。教育を切望する子どもに手を差し伸べ支援するとき、彼らは受け身どころかむしろ自発的に明るい未来を目指し始めます。良質な教育は子ども達の未来を形成する基盤であるにもかかわらず、残念ながらことに世界中の実に多くの子どもが基礎教育すら受けられない状況です。良質な教育という重要なニーズに応え世界に変革をもたらすため、私たちは16年前に支援活動をスタートさせました。そして途絶えることのないニーズに応えようと、毎年数千もの地域社会に「識字教育プログラム」と「女子教育プログラム」を提供し続けています。

これまでに私たちは、1000万人以上の子どもが夢を叶えられるよう、教育の機会を提供してきました。1000万人ひとりひとりの人生を変えたのです。物語の世界を旅する幸福で楽しい時間、困難に立ち向かう勇気、新たな扉を開けたことで得た自信。私たちが支援した1000万人以上の子どもを見れば、この影響力をお分かり頂けるはずです。例えばベトナムでは、中等学校的女子生徒を指導する効果的な方法をルーム・トゥ・リードのネットワーク以外の教師にも教えた結果、国の教育システムの様々な分野を改善できました。またネパールでは、私たちの読み書き教材を手本とした小学1〜2年生用の新しい国語の教科書が作成されました。これだけではありません。自らの子どもが新しい目標にチャレンジし達成するのを目の当たりにした保護者が増えるにつれ、地域社会による教育への理解も深まりました。

私たちは、これまでに成し遂げてきた全ての活動に誇りを持っています。そして今後はさらに支援の輪を広げていきます。世界中にはまだ、読み書きの不自由な子どもが2億5000万人もいます。この数は、学齢期に達した世界中の児童の40%に相当します。そうした子ども達を迅速に支援しプログラムを拡散できるよう、ITシステムに投資をして業務効率の大幅な向上に務めます。また収入源を多様化して支援活動の規模を拡大し、継続性を確保できるよう働きかけています。さらには、プログラム構成を現地で活動するスタッフの意見を反映して標準化し、効率的に無駄なコストはかけず導入できるようにしました。最後に、私たちは「ルーム・トゥ・リード・アクセラレーター」と名付けた新たな支援パッケージを開始しました。私たちが活動を行っていない地域において、プログラムを導入した現地パートナーが同様の支援を行えるよう手助けしていきます。（アクセラレーターについての詳細は25ページをご覧ください）

1000万人の子どもを支援するという目標を達成した後もチャレンジは続いており、新たな目標も設定しました。その実現に向けて、私たちは日々全力で支援を拡大していくことをお約束します。教育は誰にとっても必要です。そう、酸素のように。ですから私たちは、2020年までにさらに500万人以上の子どもへプログラムを届けます。同時に、より多くの子が恩恵を受けられるよう、指導者の育成にも注力します。全ての子どもが教育機会を得て、将来の夢を叶えられる世の中になることを願いつつ。

ルーム・トゥ・リードは世界中のサポーターの寛大なご厚意に支えられ、目標以上の成果を達成してきました。私たちの支援活動をここまで導いて下さった皆様のお力添えと熱意に謹んで御礼を申し上げます。「子どもの教育が世界を変える」という革新的な投資にご協力頂き本当にありがとうございました。

心より感謝をこめて

エリン・ガンジュ
共同創設者 兼 CEO

ルーム・トゥ・リードは、発展途上国の何百万人という子どもの人生を、読み書き育成と教育機会における男女平等によって変えようとしています。その実現に向けて、地域社会、パートナー団体、政府機関と提携して、小学生の識字能力と読書習慣を促進し、中等学校的女子生徒には人生全般で活かせるライフスキルを身につけてから卒業するようサポートしています。



親愛なる皆様へ

私がルーム・トゥ・リードの理事會に参画する機会を得たのは2008年のことです。それにより、幸運にも私に与えられた成功へのチャンスと同じものを、それが叶わない環境にいる子ども達へ届ける任務と機会を受けました。私は両親から学ぶ

楽しさを教わり、教師や学校からは知識を深めること、そして確かな情報に基づいて人生を選択することを学びました。現在は4人の子どもの父親として（そのうち3人は娘です）、彼女達の夢が必ずしも実現するとは限らないことも承知しています。しかし性別を超えた全ての子どもが、私に与えられたのと同じチャンスをつかむ権利があります。そして、彼ら自身の未来と世界のために投資する機会が与えられなければなりません。

当初から私は、ルーム・トゥ・リードのグローバル教育の側面を評価していました。そしてこの8年間、組織に対する敬意は深まるばかりです。プログラムや活動を熱心に支える人々（世界中のスタッフ、ボランティア、サポーター、パートナー）について知れば知るほど、私の認識も高まりました。私は、1000万人の子ども達への支援の達成という、この素晴らしい成果に誇りを抱いています。それと同時に、世界に変革を起こすチームの理事長というリーダー職を引き継いだことに身が引き締まる思いです。私の任期中は、毎年約100万人ずつ新たな子どもを支援していきたいと考えています。この目標を達成するには、私たちの良質なプログラムはコスト効率良く広範囲に拡散でき

る、という事実を行政に認識してもらう必要があります。また私たちは基幹となる支援活動をさらに強化しながら意欲的に新しい試みにも挑戦して、最大の効率と効果を引き出していきます。そして教育への膨大なニーズに対応するには、初の試みとなる支援パッケージを早急に広めなくてはなりません。私は、生きているうちに非識字を撲滅するため日を迎えるため、ルーム・トゥ・リードが構築してきた戦略に磨きをかけ力強く実行していきます！

私は自らのキャリアアップに最善の投資をしてきました。しかし子どもの教育というものは、全世界の未来に貢献できるただひとつの確実な投資ではないでしょうか。先日カンボジアのルーム・トゥ・リードを訪れた際に、この信念が確信になりました。現地で会った子ども全員に、良質な教育の好影響が現れていたからです。世の中の様々なことに貪欲で熱心に本を読む子、将来の夢をハキハキと語る子。全ての子が支援に値する存在であることは疑いの余地もありません。

私たちの活動を精力的に支えて下さったサポーターの皆様には、大変感謝しています。今日まで活動を続けてこられたのも、皆様のお力添えがあつてのことです。しかしながら、私たちには果たすべき使命がまだたくさん残っています。世界中の子ども達に教育機会を届けるという野心的な旅に、引き続きおつきあい下さいますようお願い申し上げます。

スコット・キャブニック
理事長

目次

1000万人を達成	3	世界的なつながり	27
識字教育プログラム	5	企業・団体からの資金提供	29
女子教育プログラム	7	財務報告	31
ネパール地震からの復興	9	理事会および職員	33
1000万人の先へ	11		
「生涯読書」の土台作り	13		
何世代もの少女達に力を与える	19		
直接支援の枠を超えて：			
ルーム・トゥ・リード・アクセラレーター	25		

1000万人を達成



昨年、ルーム・トゥ・リードは記念すべき偉業を達成しました。当初の目標より5年も早く、識字教育プログラムおよび女子教育プログラムで支援した子が1000万人に到達したのです！アジアやアフリカの子ども達に人生を変える教育機会を素早く届けたい一心で、私たちは毎年たゆまぬ努力を続けてきました。子ども達が適切な教育を受けて実りのある人生を送れるよう、私たちは地域社会と連携し、活動成果を注意深くモニタリング・評価しながらプログラムの向上を継続的行っています。





識字教育プログラム



読み書きは全ての教育の基礎であり、国際社会への招待状です。私たちの識字教育プログラムは、生徒が日常的にひとりで読書を楽しむことを目標にしています。それを実現するため、ルーム・トゥ・リードは現地の識字カリキュラムや教材の不足を解消したい – 将来を左右する読み書きという土台を固めるために。

識字教育プログラムの成果

恩恵を受けた子ども達



88万5,000人 1,070万人

2015年の新たな支援数

総数

プログラムの実施校

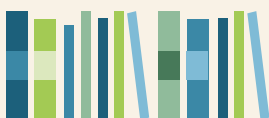


1,127校 18,699校

2015年の新たな支援数

総数

児童書の出版



137冊 1,295冊

2015年の新たな支援数

総数

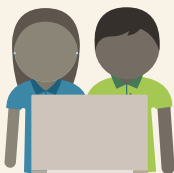
図書の寄贈



250万冊 1,800万冊

2015年の新たな支援数

総数



8,962人

の教師・司書が2015年に研修を受けました



平均
2,313冊/校

の図書が2015年に貸し出されました

生徒の読む力を育成

私たちの支援が子どもの読み書き習得にどれくらい効果的であるかを確認するため、プログラム内では音読の読む流暢さのスキル評価をしています。この評価は、スリランカにおいて2015年に2年目を迎えたシンハラ語での識字教育プログラムでも行いました。学年末に実施した読む力の評価では、私たちのプログラムを受けた生徒は1分間に51語を読むことができ、これはプログラム非実施校の生徒より20語以上多い結果でした。また読

解力に関しては、私たちが識字教育の支援を行った2年間で、プログラムを受けた生徒は受けていない生徒に比べて約1.4倍勝っていました。こうした結果は、私たちの識字教育プログラムが読む力を養う際に大きく貢献していることを示しています。その他、図書の供給方法や、読み書き指導を担当する教師への総合的な能力開発も効果的であったことが証明されました。

生徒が1分間に読める平均単語数

読む力を評価するため、私たちは2万人以上の子どもを調査しました。様々な調査の結果、私たちの識字教育プログラムを実施している学校の生徒は、近隣の比較対象校の生徒よりも流暢に読めることが分かりました。

世界中で行われている他の識字に焦点を充てた支援プログラムの結果と比べたとき、私達が卓越した成果をあげていることがよくわかります。がいかに優れているかは、私たちと同じような教育支援を行っている世界中の団体と比較すると明らかです。先日、貧困国で実施したにおける75の教員研修プログラムの評価項目と点数を見ていました。その中で、ルーム・トゥ・リードと同等あるいはそれ以上の結果を出しているプログラムはせた支援団体はわずか2団体だけでした。この結果が示すとおり、私たちのプログラムは成果に繋がりにくい困難な環境においても確実な結果を出せるのです。



女子教育プログラム



教育における男女格差に大きな隔たりができるのは中等学校です。だからこそ私たちは、中等教育を受ける少女達に女子教育プログラムを実施し、人生の選択をする際に確かな情報に基づいた決断ができるようになってから卒業してもらいたいのです。

女子教育プログラムの成果

プログラム参加者



29,834人

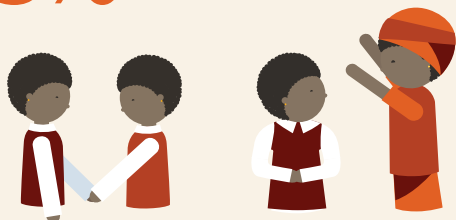
2015年

38,750人

総数

85%

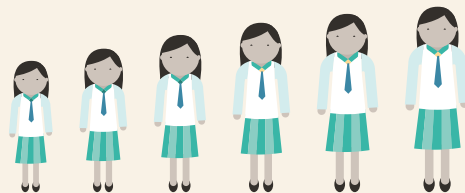
2015年、プログラム参加者の85%が
ライフスキル研修を受けました



*学年のタイミングの関係で、スリランカの12年生と13年生のデータは含まれていません。

95%

2015年に学校に残った参加生の95%が
進級しました



*学年のタイミングの関係で、スリランカの12年生と13年生のデータは含まれていません。

中等学校を卒業した参加者



726人

2015年

2,362人

Cumulative

卒業に向けて:全国統一試験に照準を合わせる

私たちが女子教育を支援する多くの国では、全国統一試験に合格しない限り中等学校を卒業できません。こうしたコミュニティで合格者になると、極めて立派な達成とみなされます。実際、私たちのプログラムに参加した少女が、身内で初めての受験者であるケースも珍しくありません。

少女達が大学進学を含む、未知なる可能性の扉を開けられるよう、私たちは人生がかかった大事な試験に十分に備えられるよう全力を尽くします。プログラムを受けている期間、少女達は勉強への集中を促され、成績や出席率が低下し始めた子は個別指導を受けることもできます。この支援により2015年は数百人もの少女が合格できました！

- ・バングラデシュでは、プログラム参加生の94%が卒業試験に合格しました。これは国の平均合格率の87%を上回っています。
- ・スリランカでは、プログラム参加生の74%が競争率の高い難関試験に合格し、大学を受験する資格が認められました。これは国の平均合格率の61%をはるかに上回っています。
- ・ベトナムでは、プログラム参加生の94%が全国試験に合格しました。合格した少女の半数以上が高等教育へ進学しました。



卒業生のその後

2015年、私たちは近年卒業した生徒の現状を調査をしました。大学へ進学、就職、結婚など様々な人生を歩んでいることが分かりました。



どちらでもない: 10%

*2014年のプログラム修了生の90%から収集したデータによるものです。

プログラムを強化:試験的なリスク評価

プログラムを受ける少女それぞれが、教育を継続することに対する様々な障害に悩まされています。そのため私たちは中退に繋がる要因を特定し、特別なサポートを行うことで中退を未然に防げるよう、早期警戒システムを考案して2015年にタンザニアで試行しました。その結果、プログラム参加生における4つのリスク要因は: 学校を欠席した、試験で落第点をとった、ライフスキルのクラスを欠席した、親が保護者会を欠席した、でした。

この結果判明したのは、リスク要因が1つ以上の少女はゼロの子に比べて、中退の確率が4倍以上になります。また、少女自身の出席率や親の保護者会への出席率が、中退の予測と密接に関係していることも分かりました。

中退を予測できれば、手遅れになる前にターゲットを絞った手助けができます。現在、タンザニアでのテストケースを反映した国際的なリスク追跡システムを開発中で、2016年には世界中で導入予定です。

ネパール地震からの復興



2000年以降、ルーム・トゥ・リードはネパールで1,100校以上の校舎を建設・修繕し、3,800以上の図書館・図書室を開設し、約270万人の子ども達により良い教育を届けることができました。。2015年に大地震がネパールを襲ったとき、私たちは早急にネパール政府と連携して被害を受けた教育施設の再建に踏み出しました。



ルーム・トゥ・リードの創設者
ジョン・ウッドからのメッセージ



ネパールはルーム・トゥ・リードが誕生した国です。この16年間、私はネパールの人々をいつも身近に感じてきました。

サポーターの多くの方々と同様に、私も地震の被害を知るやいなや言葉を失い悲しみに打ちひしがれました。そしてすぐに、私にできることは何だろうと考え始めました。しかしいつものようにルーム・トゥ・リードのスタッフが先に行動を起こしました。地震発生後24時間以内に「ネパール教育基金」を立ち上げ、現地の子ども達が安全に学べる環境を再建するプロジェクトをスタートさせたのです。

すぐさま私たちのグローバルチームは、並行して2つの支援に取り掛かりました。まずは、専門的な訓練を受けた精神分析医をネパール国内で雇用し、私たちのスタッフを対象とした研修を行い、震災でトラウマを負った教師や子どもと接する際の対応方法を教えてもらいました。次に震災後の数ヶ月間をかけて、生徒達が仮設教室で読む練習を続けられるよう、ルーム・トゥ・リードが出版した図書約50万冊を届けました。さらには、崩壊した教室と図書室を再建・修繕するための資金集めに、全世界にいる資金調達チーム、ボランティアスタッフ、理事会、チャプターが奔走したのです。

2015年7月、ようやく私はネパールに入ることができ、現地のニーズにあった支援をより強化するため、被災したコミュニティを訪ねることができました。被害の様子を目の当たりにして胸が締めつけられる思いでしたが、現地の生徒、スタッフ、パートナーの方々と接しているうちに、彼らのたくましさ、そして教育の力で国を良くしたいという揺るぎない信念に改めて背中を押されました。

特に印象に残っているのは、カトマンズの渓谷（ユネスコの世界遺産）の郊外の街サンキウで実施している女子教育プログラムの参加者を訪問した時のことです。彼女達は震災で家を失ったにもかかわらず、毎日熱心に登校して来ました。そして少女達が私に語り、そのほとんどが地震の被害についてではなく将来の夢についてでした。大学で学びたい、海外へ留学したい、看護師になりたい。大きな被害をもたらしたばかりの自然災害（と思春期特有の問題）にとらわれることなく、その先の未来に目を向けられる彼女達の力強さに、畏怖の念すら抱きました。

その旅の間に私は、このような前向きな力に何度も目にしました。悲劇のさなかでも、そこには国の再建に向けた希望と情熱がありました。こうした体験に触発された私は、それまで以上にルーム・トゥ・リードが成し得る最も有意義なことに全力を尽くそうと固く決意してネパールを後にしました。私たちだからこそできること、それは子ども達に良質な教育を贈ることです。

ありがたいことに世界中のサポーターの皆様が、ネパールの復興に大きな力を貸して下さいました。そのおかげで、深刻な被害を受けたヌワコット郡とダディン郡の62校で700以上の教室を再建します。すでに私たちは、学校の再建に付随するあらゆる事前手配（エンジニアの雇用、建設計画と費用の決定、校舎の設計に関する政府の承認）を終え、いくつかの学校では工事が始まっています。地域住民が学校再建に関する情報を得て、計画を把握できるように、初期段階からコミュニティごとに集会を開き、住民に参加してもらっています。

世界中の私たち支援者たちが一丸となって、ネパールのために立ち上がってくださったことを大変嬉しく思います。ルーム・トゥ・リードが発足したその日から、この国の子ども達が、教育や読み書きという生涯の贈り物を得てより良い人生を形づくる手助けをしたいと誓いを忘れたことはありません。

心より感謝をこめて

ジョン・ウッド
ルーム・トゥ・リード創設者

1000万人の先へ



ルーム・トゥ・リードは2000年の創立以来、低学年の読み書き育成と教育における男女平等を促進するため、効果的で調査に裏付けられ、かつ国際的に通用する方策を構築してきました。そして私たちが「識字教育プログラム」および「女子教育プログラム」によって生み出すことのできた意義深く大きな変化に誇りに思っています。しかし、世界にはまだ私たちの支援を必要としている子どもが何百万人もいます。その子達に良質なプログラムをできる限り迅速に提供するには、私たちが直接的に支援をするだけでなく、地域社会、パートナー団体、行政と連携し、私たちが培ってきたノウハウを共有することで、飛躍的に多くの学校へと普及させる必要があります。

A F R I C A

ザンビア



タンザニア



南アフリカ



インド



ネパール



ラオス



ベトナム



カンボジア



スリランカ



バングラデシュ



グレナダ

ルーム・トゥ・リード・アクセラレーター



C A R I B B E A N



インドネシア

ルーム・トゥ・リード・アクセラレーター



「生涯読書」の 土台作り



2億5000万人の子どもが
基礎教育を受けていません。

読み書きの基礎が
人生に変化をもたらします。

貧困国の全生徒が基本的な読む力を
身につけたなら、

1億7100万人が
貧困から抜け出せます。

識字率が

20-30%

上がった国は、GDPも

8-16%

上昇しました。

文字が読める母親の子どもは、5歳を
超えても生存できる確率が

50%

高くなります。

子どもが文字を覚え、読むことに楽しみを見だし、
そして生涯にわたって読書習慣を継続していくには、
学び始めの段階で適切な指導を受け良質な読み物に触
れることが大切です。私たちの識字教育プログラムで
は、小学生が読み書きの基礎をしっかりと学べるよう、
指導方法、教材、学習環境の整備に力を入れています。

何年にもわたる調査・評価・改善の末、私たちはどの国でも導入可能な、データに基づいた読み書き指導法を開発しました。このノウハウを共有して教育政策やイニシアチブに貢献したいと考えており、現在その機会を模索中です。ルーム・トゥ・リードの最終的な目標は、政府の教育政策に助言してその国から非識字者をゼロにすることです。

生涯の宝物「読み書き」への道
ルーム・トゥ・リードが学んだことトップ10

1. 音声学に基づく指導法が、読むスピードを速くし、理解力も養います。

例：インドにて小学2年生を学年末に調査したところ、私たちのプログラム参加生は比較対象校の生徒より、1分間に平均35語多く読めました。



2. 読む力の育むアクティビティ（音読、互いに読み聞かせ合うなど）を心得た教師に指導された生徒は、読書好きになる傾向があります。

例：南アフリカのプログラムに参加した生徒は、時間割の「図書室の時間」の60%以上をひとりで読書をしていました。そして65%以上の子どもが図書室にほとんどの本を読了したそうです。





3.子どもはイラストが描かれた物語(民間伝承、ファンタジーなど)を好みます。

例: 私たちが支援している3カ国で図書館・図書室の貸出し状況を分析したところ、圧倒的に人気があるのは物語でした。ストーリーと登場人物が面白いから、という子ども達の意見が報告されています。

4.採光と換気が適切で、活気のある教室が生徒の学習意欲を高めます。

例: 私たちは、学校建設プロジェクトが安全かつ学習にふさわしい環境を提供しているかを確認するチェックリストを作成しました。2011年以降に建設した校舎で構造的な損傷が見つかったのは1%以下で、それらはすでに修理済みです。



全ての学びの基礎である読み書きの習得



低学年の教科書に採用

ラオス

ラオスでの11年間に及ぶ支援活動では、小学生の読み書き育成に大きく貢献しました。識字教育プログラムを受けた生徒はプログラムを導入していない学校の生徒に比べて、1分間に読める語彙数が3.5倍も多いことが分かっています。この成果に関心を示したラオス政府は、政府指定の教科書に代わってルーム・トゥ・リードの小学1～2年生用の教科書をサワンナケート県の46校で採用することにしました。現在、この試験導入の効果を綿密に検証中であり、将来的に私たちの教材が国定教科書として採用されるかもしれません。

国の教育カリキュラム・政策に影響を及ぼす

ネパール

2000年に発足したルーム・トゥ・リードの最初の支援国であるネパールにおいて、当時行っていたのは学校に児童書を届けるというシンプルな活動でした。以来、私たちは総合的な識字教育プログラムを構築し、ネパール政府との連携を強化してきました。2015年、私たちはネパール教育省と協働して、国の識字教育政策を見直し、不適切な点を改善しました。その結果、私たちの識字教材が小学1～2年生の読解力の授業で正式に使われることになりました。今後ネパールの子ども数百万人に恩恵届けられる素晴らしい機会となりました。



5. モニタリングと評価を継続的に行うことで、図書館・図書室は順調に効果的に運営されるようになります

例：3年間にわたるルーム・トゥ・リードの立ち上げ支援・研修が終わった後も、30%以上の図書館・図書室は自分達でサービスを維持できています。



6. 図書館・図書室が身近にあれば、学校や自宅でたくさん本を読むようになります。

例：私たちが図書館・図書室を開設した学校の生徒が校内で読書を楽しんでいる割合は44%であるのに対し、比較対象の学校の生徒は33%でした。





公立学校での指導法を改善

インド

私たちがインドで試験的な読み書き育成アクティビティを開始したのは2008年のことです。当時のアクティビティが現在の識字教育プログラムの主要な構成要素となり、プログラムを受けた小学2年生はプログラム非実施校の生徒に比べて3倍も多くの語彙を読むことができます。この実績を知ったウッタラーカンド州とチャッティースガル州の州政府の要請で、ルーム・トゥ・リードの低学年向け読み書き指導法を、5年間にわたって多くの学校に導入して試みるようになりました。2015年には上記2州の小学校360校でプロジェクトが始まりました。将来的には、州の主導で効果的な読み書き指導を展開していけるようなシステムづくりに取り組んでいます。



7. 運営の透明性が地域社会の関心と協力を促します。

例：スリランカにて、現地コミュニティによる資金集めを追跡調査し明らかにしたところ、より短期間で目標を達成し、より多くの参加者が集まり、より強い責任感を感じていることが分かりました。

読書習慣を広める



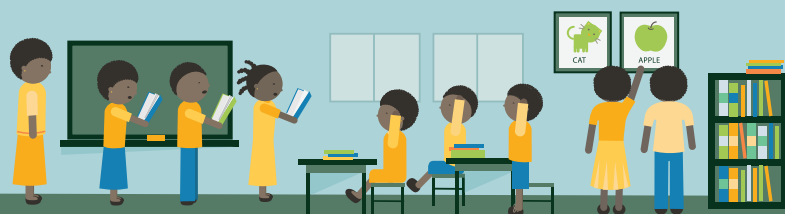
読書習慣を促す教師の役割

バングラデシュ

私たちがバングラデシュでの支援を開始したのは2008年です。それからというもの、それから8年間で蓄積したノウハウを共有し、ルーム・トゥ・リードのプログラムの協力体制を築くため関心があり、国の教育セクターに影響力を持った方々との出会いを常に探していました。2015年、私たちはバングラデシュ・リテラシー・アソシエーションで行われた第4回全国教員会議に参加しました。首都ダッカで開催された2日間の会議には、バングラデシュの教育大臣をはじめ、様々な教育担当官が出席しました。ルーム・トゥ・リードのプレゼンテーションでは、読み書き指導における教え方の工夫、読書習慣の促進、読み書きが全ての教育の基礎であることを訴えました。

8. 持続的な向上心と革新こそが大きな変化を生み出します。

例：ルーム・トゥ・リードの読み書き育成のためのアクティビティは、インドにおける試験的な取り組みから生まれました。この時の様々なアクティビティが現在全世界で展開中のプログラムの構成要素となり、読む力の向上に多大な貢献をしているのです。



9. 協働は影響力を拡大するチャンスです。



全国の学校に図書室を 普及させるキャンペーン

南アフリカ

南アフリカでは2006年から識字教育を支援しています。以来、南アフリカ政府と強い絆を構築してきたルーム・トゥ・リードは、2015年に基礎教育省が主催するフォーラムに招待されました。フォーラムの目的は読書を推進し、図書館・図書室の情報サービスを充実するための国をあげてのキャンペーンを計画することです。その一環として、年に1,000校の図書館・図書室を開設または改装することになりました。



図書室の利便性の向上、 図書室でのアクティビティの拡充

ベトナム

ベトナムは私たちにとって2ヵ国目の支援国で、2001年から活動しています。それからは同国での学校図書室の開設に取り組み、2015年は国の教育政策の立案にも協力しました。そして12月に国内の公立小学校に展開する新プロジェクト「親しみやすい小学校図書室プログラム」を立ち上げるため、ベトナム教育・訓練省と契約を交わしました。このプログラムでは私たちの司書トレーニングモデル、図書室の開設マニュアル、図書室を有効利用する授業に関する知識を活用して生徒の読書習慣を促進します。

例:タンザニアで小学1〜4年生を対象としたスワヒリ語の新しい教材を開発するため、政府、米国国際開発庁 (USAID)、RTIインターナショナルと協働しています。

10. 地域行政の理解と協力が、
広範なシステム修正の鍵を握っています。

例: 私たちの成果を認めたカンボジア政府の依頼により、小学1年生向け国定教科書の改訂作業に参加しました。その他、学校の図書室で働く司書のために給料の値上げ交渉を成功させました。



何世代もの少女達に 力を与える



貧困国の少女達は、教育を受け続ける過程で様々な課題に直面することになります。ですから女子教育プログラムでは、彼女達が人生の大切な場面で正しい決断を下せるスキルを身につけてから中等学校を卒業するようサポートしています。

このプログラムでは少女達が勉強に打ち込めるよう、保護者や教師、地域社会へ働きかけます。また私たちは、少女達の人生に必要なライフスキルの育成も手助けしています。ライフスキルとは、自信、決断力、コミュニケーション能力などを指します。大きな変化を起こす効果的なプログラムであることは、実績データからも見て取ることができます。生まれた場所にかかわらず全ての少女が中等学校を卒業するまで必要なサポートを受けられるよう、地域社会および国レベルで変えていこうと主張しています。さらに私たちは、女子教育のために尽力する行政や他の組織とも協力体制を構築していきます。

全世界で6200万人の
少女が教育を受けられません。

教育で人生を変えられます。

あと10%多く

少女が学校教育を受けられれば、国のGDPは平均

3%

上昇します。

女子生徒があと1年長く中等学校に通えれば、将来もらう賃金が

10-20% 増加します。

全ての女性が中等教育を受けられれば、10代での出産が

59%

減少します。

中等教育を受けた少女は、教育を受けていない少女に比べて、

最高6倍も

児童婚の割合が減ります。

輝かしい未来への旅 女子教育の10ステップ

1. 中等学校に入学する

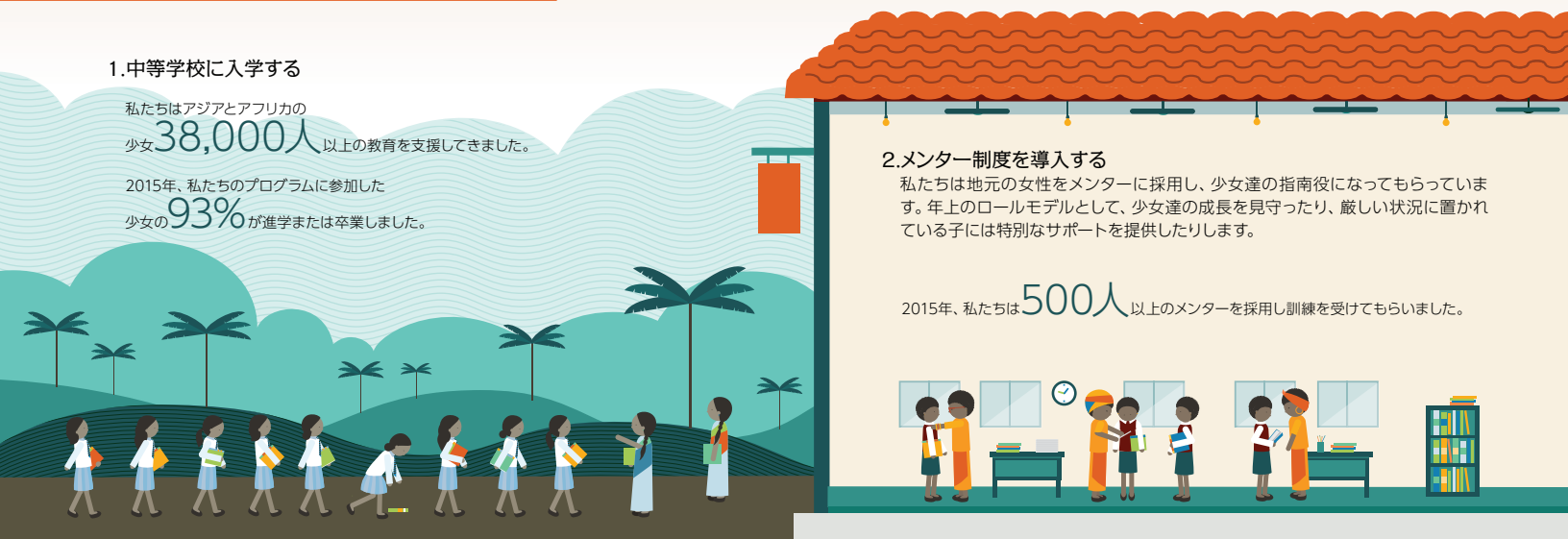
私たちはアジアとアフリカの
少女38,000人以上の教育を支援してきました。

2015年、私たちのプログラムに参加した
少女の93%が進学または卒業しました。

2. メンター制度を導入する

私たちは地元の女性をメンターに採用し、少女達の指南役になってもらっています。年上のロールモデルとして、少女達の成長を見守ったり、厳しい状況に置かれている子には特別なサポートを提供したりします。

2015年、私たちは500人以上のメンターを採用し訓練を受けてもらいました。





3.保護者からのサポートを強化する

女子教育支援の一環として、生徒の家族、学校、地域社会との結束を強めました。

保護者会に出席する親の娘は、出席しない親の子に比べて、中退の割合が
20% 少ないことが分かりました。

2015年、少女の親/保護者の**82%**が保護者会に参加しました。



少女の権利を保護する



児童婚を根絶するための首脳会談

ザンビア

今日を生きる女性の7億人以上が、18歳までに結婚しています。児童婚は南アジアとサハラ以南のアフリカで多く、それらの国では少女達を学業から遠ざける多くの障害が存在します。ルーム・トゥー・リードでは児童婚を廃絶するために少女や家族を啓発するだけでなく、女子教育や結婚に関する多面的なアプローチで社会通念を変えようとしています。昨年私たちは、児童婚の根絶を目的とした初めてのアフリカ連合首脳会議に参加しました。ザンビアで開催されたこのサミットには各国の首脳陣が出席し、アフリカ全土で少女達の人権を守っていくことになりました。サミット期間中、私たちは女子教育プログラムで培った知識や成功事例を発表し、ザンビアでの児童婚を終焉させる戦略計画の草案作りを手助けしました。

4.人生に不可欠なライフスキルを養う

少女達にライフスキル教育を提供します。

私たちのライフスキル教育を受けた少女は受けなかった子に比べ、
中退率は**14%** 低く、進学率は**16%** 高い結果となりました。

2015年、**85%**の少女がライフスキル教育に参加しました。

5.必要に応じて教育費を援助する

学校関連の費用（制服、授業料など）を負担する物質的な支援を行います。

この数年間で、本支援を受けた
少女の退学率は**14%** 低く、進学率は**12%** 高い結果となりました。

2015年、**45%**の少女が必要に応じた物質的な支援を受けました。



演劇によるコミュニティへの訴え

バングラデシュ

バングラデシュは早婚の割合が高い国のひとつです。約66%の少女は18歳までに既婚者となり、少女の3分の1以上が15歳未満で結婚しています。18歳未満での結婚は違法であるにもかかわらず実際には強制結婚が横行しており、そのため多くの少女が学業を断念せざるを得ません。この悪習を断ち切るため、バングラデシュでプログラムを受けた生徒達自身が、早婚を撲滅し女子教育を優先することを目指す人権擁護キャンペーンを行いました。ラジシャヒ地域の6校に通う少女達が芝居「Ichchha（現地語で希望/願いの意味）」を演じる中で、結婚は大人になってから、それまでは学校に通えるようサポート体制を確立して欲しいと、友人、家族、コミュニティメンバー、政府関係者に向けて訴えかけました。



教育における男女平等のためのコラボレーション

インド

貧困国で女子生徒が教育を受ける際には、様々な課題に直面します。経済的な問題、社会の慣習と圧力、良質な教育を受ける環境が整っていない、など。こうした課題にインド全体で取り組めるよう、私たちは「インドにおける思春期の少女達：男女平等、ライフスキル、学校に関する問題」と題した集会を開きました。ニューデリーで開かれたこのイベントにはインドで活動中の国内外の非営利団体が出席し、思春期にさしかかった少女の権利、特に教育面を擁護・サポートするための成功事例をお互いに共有しました。その他、どうすればインド全土を効率的に支援できるか、支援団体によるサポートを最大限に発揮するにはどうすべきかについても活発に話し合いました。

6.試験対策をする

学校教育で次段階へ進むには、全国共通試験に合格しなければなりません。

定性的評価の結果、インド、ネパール、ザンビアで行った私たちの試験対策サポートが、少女達の合格に役立っていると判明しました。

2015年、プログラムを継続している少女の95%が進級しました。



7.リスクを回避する

女子生徒の中退率は学年が上がるにつれ高まります。その原因は、労働力にされる、児童婚、勉強についていけない、妊娠などです。

メンターは中退の恐れがある少女を、ルーム・トゥ・リードのリスク要因対応システムによって特定しサポートします。

定性的評価の結果、メンター制度が少女の中退を食い止める助けになっていることが分かりました。



私たちの知識と経験を共有する



学校カリキュラムに ライフスキル教育を導入

カンボジア

女子教育プログラムで重要な要素のひとつがライフスキルの育成です。現在はライフスキル教育を学校の授業外で行っていますが、私たちは通常の授業に組み込めるよう働きかけています。これを実現するため、昨年はプレイベン州とコンボンチャム州の中等学校と提携して、ライフスキルを教えられる教師を養成しました。コンボンチャム州政府は研修を受けた教師達に、たとえ私たちのサポートがなくても学校の授業でライフスキルを指導できる権限を与えました。これをきっかけに、国内全ての中等学校でも授業でライフスキル教育ができるようにしていきます。

8.変化を起こす

ライフスキル教育での学びを活かすうちに、少女達に自信が芽生えました。

定性的評価によると、少女達が新たに身につけたリーダーシップ力を実生活で活用していることが分かりました。自身が「変化を生み出す因子」となり、学んだことを親や姉妹、近所の友人に伝えています。



9.卒業する!

私たちのプログラムを経て中等学校を修了した生徒数が
計 **2,362人** になりました。





メンター制度の好事例を広める

ベトナム

貧しい地域に暮らす少女には、学業に関する野望を相談できるロールモデルがなかなかいません。この課題を解決できるよう、ソーシャルモビライザーと呼ばれる女子教育プログラム参加者のためのメンター兼相談役を導入しています。そして私たちは何年もの試行錯誤の末、メンターによる効果的なサポート体制を構築しました。昨年、ヴィンロン省の教育機関から私たちのベトナムチームに依頼があり、この分野におけるノウハウを2度にわたるワークショップで教えることになりました。ワークショップには、ヴィンロン省の中等学校120校から150人の教師が参加しました。ルーム・トゥ・リードの支援が行われていない学校の教師は、少女の育成を担うメンターの役割だけでなく、生徒と関わりサポートしていく上で有益な様々な情報を得ました。

10. 希望に溢れた未来を選び取る

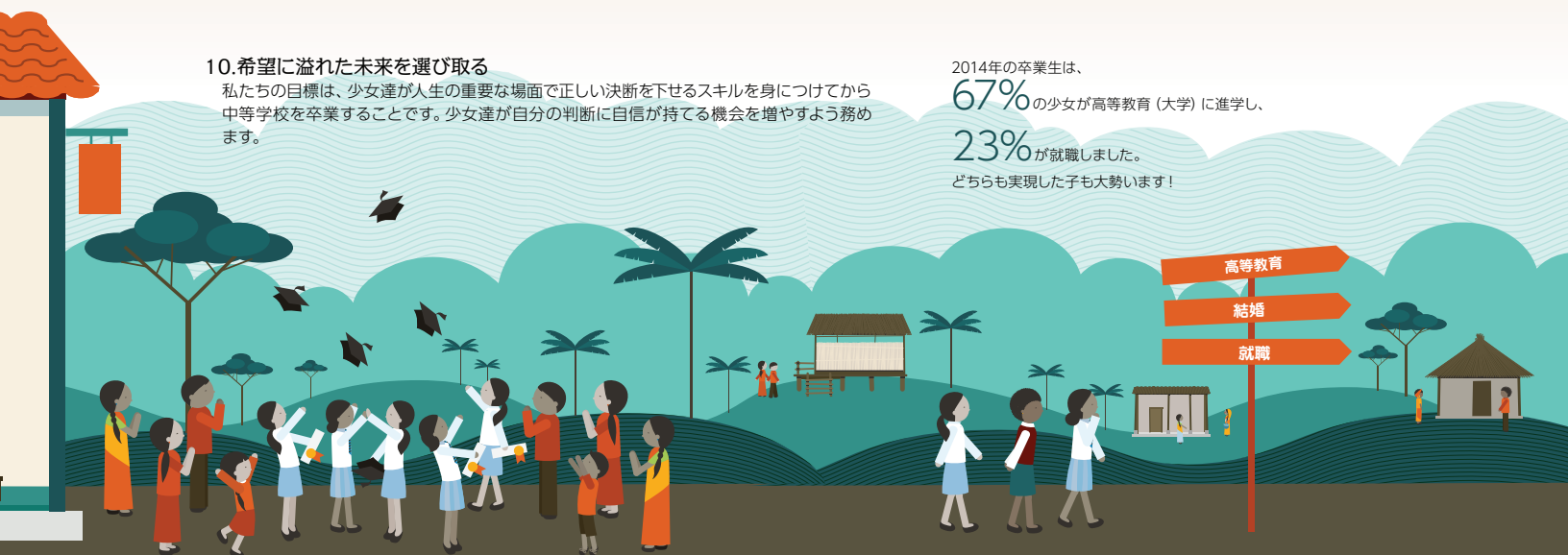
私たちの目標は、少女達が人生の重要な場面で正しい決断を下せるスキルを身につけてから中等学校を卒業することです。少女達が自分の判断に自信が持てる機会を増やす務めます。

2014年の卒業生は、

67%の少女が高等教育（大学）に進学し、

23%が就職しました。

どちらも実現した子も大勢います！



直接支援の枠を超えて: ルーム・トゥ・リード・アクセラレーター



現在のルーム・トゥ・リードによる支援国は、アジアとアフリカの10カ国です。これらの国で直接支援を拡大してまいります。私達はもっともっと多く子ども達にプログラムを届けたいと思っています。

そこで、私たちが各国へ赴いて直接支援を補完し、世界中へ速やかにプログラムを普及させるため、「ルーム・トゥ・リード・アクセラレーター」と呼ぶ技術支援の取り組みを開始しました。この新しい支援パッケージは、実績に裏付けられた「識字教育プログラム」と「女子教育プログラム」の指導法や構成要素を、現地で実行する団体・政府がその地域の文化、言語、教育方針に最適なかたちで導入（投資）できるように設計されています。

インドネシア:2015年の成果

8,300人の生徒が
2015年に恩恵を受けました

25タイトルの児童書が
インドネシア語の初心者向けに出版されました

24カ所の
図書館・図書室が
国内の3地域に設置されました

グレナダ:技術支援の目標

11,000人の生徒が
2018年までに恩恵を受けます

小学1年生の
読み書き教育を
向上させます

学校図書館・図書室を
全57校の公立小学校に
設置します



インドネシア

ルーム・トゥ・リードが初めてアクセラレーターによる支援をスタートさせたのは、2014年のインドネシアでした。2年間に5つの非営利団体と2社の出版社と協働して学校図書館・図書室を開設したり、インドネシア語の児童書を出版したりしました。国連の発表によると、インドネシアは識字率が比較的高い国とされていますが、読む力の熟練度は地域によって大きな隔たりがあり、地方ほど低い傾向にあります。また、現地語の児童書が決定的に不足していることも、読書習慣を養えない要因となっています。

こうした問題に配慮しながら提携団体と協力して、国中に拡散可能な実行しやすい支援パッケージを開発しました。そして学校図書館・図書室の開設、教師を対象としたワークショップと教材、図書を学年別ではなく読解力に応じてレベル分けする新システムのガイドラインを作成しました。このガイドラインを参考にして提携パートナーは2015年に25タイトルの児童書を製作し、3つの地域に24カ所の図書館・図書室を開設しました。図書館・図書室には、新ガイドライン「理想的な図書コレクション」に選ばれた4万冊が寄贈されました。

こうした活動により、2015年には8,300人以上の子どもが恩恵を受けました。また、インドネシア教育文化省が実施した「15分の読書キャンペーン」（生徒に読書力をつけるため、学校以外で15分/日を読書を楽しむ時間に充てるよう促進）にも、この提携プロジェクトで出版した児童書が活用されました。また同省は音読を奨励しており、子どもの興味を引くこれら新しい図書を利用しています。

グレナダ

グレナダは東カリブ海諸国に位置する島国で、世界中の子どもの識字率の低さに悩む多くの国のひとつです。過去40年以上にわたって改善に取り組んできたものの、小学校は今なお教師の能力不足と教材不足に悩まされています。

この問題に対処するため、私たちは教育省、人材開発省、グレナダ学校社（現地の非営利団体）との3年間の提携を2015年に開始して、低学年の読み書き育成を支援することになりました。このプロジェクトの目的は、小学生が読み書きの基礎を習得し読書習慣をつけるため、多くの子どもに提供できて、コスト効率に優れた、継続可能なプログラムを立ち上げることです。そして国内の全公立小学校57校への支援を目標に、小学1年生の読み書きカリキュラムを見直し、各校に図書館・図書室を開設する計画です。その他、現地の作家とイラストレーターを養成して、自国にて良質な児童書を低予算で製作できるようサポートします。最終的には、6タイトルのオリジナル図書が出版される予定です。

この提携で恩恵を受ける生徒は、2018年までに推定11,000人です。そして次々に入学してくる新世代の数えきれない程たくさんの子ども達も、この好影響を継承していけるのです。

世界的なつながり



非識字、そして教育における男女格差を撤廃するには、国際社会の協力が不可欠です。2015年、私たちは影響力の強いメディアを通じて、教育の重要性を国際社会へアピールしました。ボランティアネットワークの多大な力添えもあり、その努力は実を結び、私たちの活動に欠かせない素晴らしい支援の輪が広がりました。

2015年 数字が示すつながり



11億人もの人が

PEOPLE誌の記事を通じて私たちの活動を知りました。



72,464人の

FACEBOOKフォロワーがいます。



641,000人の

TWITTERフォロワーと繋がっています



195,060分も

YOUTUBEで私たちの動画が視聴されました



42の

記事が新しいメディアプラットフォームMEDIUMに掲載され、

102,056回

閲覧されました



16,000人の

ボランティアサポーターと

400人以上の

サポーターリーダーが世界中にいます。

ルーム・トゥ・リードが紹介されたメディア

BBC

VARIETY

The Sydney Morning Herald

VOA
Voice of America

TODAY

South China Morning Post

The Telegraph

ABC

THE HUFFINGTON POST

FORTUNE

The New York Times

THE TIMES OF INDIA

theguardian

CNN

NBC NEWS

大統領夫人が女子教育プログラムに来訪



ミシェル・オバマ米国大統領夫人は、自身が主導するキャンペーン「女子に教育を(Let Girls Learn)」の一環として、2015年3月にカンボジアを訪問しました。

訪問中、大統領夫人はカンボジアのブン・ラニー首相夫人と共にルーム・トゥ・リードの女子教育プログラムで優秀な成績を収めた少女達を訪ねました。2人のファーストレディは中等学校の卒業を間近に控えた少女達と面会し、過去に中等教育の修了者がほとんどいない村での偉業を讃えました。

ファーストレディ達はひとりひとりの少女と話をするうちに、ルーム・トゥ・リードによる地域社会を巻き込んだ支援スタイルが、教育における男女格差の是正に効果的であると気づきました。この訪問の最後に、オバマ大統領夫人は少女達に言いました。「あなた方は世界の手本となる人物です。皆さんのことを知った少女は、『私にもできる』と思うはずです。そして彼女達は自分に言い聞かせるでしょう。『私には声があり、頭脳がある。だからそれを生かしていこう』と」

教育に感謝を込めて

教育を届けた子ども達が1000万人を達成した際、私たちの活動に関わった世界中の生徒、教師、スタッフ、支援者に、教育が彼らの人生をどのように変えたかについて尋ねてみました。その感謝のメッセージを、「教育にありがとう(Thanks to Education)」キャンペーンの一環としてまとめました。ここでご紹介するのは、700以上集まったメッセージのほんの一部です：



「教育にありがとう。教育のおかげで、信じれば実現するし自分にはその資格がある、と考えるようになりました。私は、望む人生を生きるために大きな夢を描いています」

ダルエスサラーム、タンザニア



「教育にありがとう。教育のおかげで、父は田舎の村から出ることができました。私も住む場所の枠を越えていこうと思っています。いつか私の子どもには、世界へと羽ばたいてもらいたい」

ダッカ、バングラデシュ



「教育にありがとう。教育のおかげで、自分の周りのことが分かるようになりました。他にも数えきれないほどの色んなことも」

香港



「教育にありがとう。教育のおかげで、したいことをほとんどできるようになりました。飛行機の操縦まただけ」

カチェタ、ザンビア



「教育にありがとう。教育のおかげで、リスクを恐れずチャレンジできるようになりました。もし失敗しても、教育の力で次の扉が開くと信じているから」

ニューヨーク、アメリカ



「教育にありがとう。教育のおかげで、バッファローの放牧する代わりに、本を読む機会を得られました」

ラージャスターン州、インド



「教育にありがとう。教育のおかげで、自分が望む人生を歩むことができます」

バンクーバー、カナダ

企業・団体からの資金提供



企業、団体、政府からの資金援助は、世界中での識字教育および女子教育支援に重要な役割を担っています。2015年は全支援の44%が、パートナーからの現金および物資によるご寄付でした。その上、彼らの影響力に富んだネットワークを通じて、私たちの活動をより多くの方々に知って頂くことができました。

Atlassian アトラシアンは、ルーム・トゥ・リードがアジアで実施するプログラムに500万米ドル以上を寄付して下さいました。2015年はカンボジアでの女子教育プログラムの最大の支援者であり、同時に世界で最も多大な投資をされた企業です。アトラシアンの約半数の社員が「1ドル/日」プログラムを通じて私たちを支援してくださっています。

BURGER KING
McLAREY FOUNDATION バーガーキングの寛大な従業員とヨーロッパ、アジア、アフリカ市場のフランチャイズ店やお客様からのご寄付、およびバーガーキング基金からの資金提供により、カンボジア、インド、ネパール、スリランカ、南アフリカ、タンザニア、ザンビアの69,000人以上の生徒が識字教育プログラムを受けるための支援をいただきました。

CATERPILLAR FOUNDATION
CATERPILLAR 1952年に設立されたキャタピラー財団は、環境維持、教育機会、人間の基本的ニーズの領域を支援しながら、世界の継続的な繁栄を目指す慈善団体です。同団体は2009年から私たちの活動に多大なる貢献をいただいています。この3年間は、インドと南アフリカでの識字教育プログラムと女子教育プログラムを支援され、90ヵ所以上に図書館・図書室を設置することができました。同社の支援によって、25,000人以上の子供が恩恵を受けました。

citi シティグループは2015年、世界中の教育関連NPOに資金調達を行う同社の「e for Education」イニシアチブを通して、ルーム・トゥ・リードを支援して下さいました。2015年10~12月には、同社の名高い法人間電子取引プラットフォームであるペロシティ上で、法人取引額100万米ドルごとに1米ドルを寄付されました。2015年に集まったのは40万米ドル以上で、同社による支援は2013~2015年で総額165万米ドルを超えました。

CREDIT SUISSE クレディ・スイスは、ルーム・トゥ・リード最大の企業スポンサーの会社です。識字教育プログラムと女子教育プログラムのみならず、2015~2019年の戦略プラン策定やルーム・トゥ・リード・アクセラレーターの導入などの主要戦略プロジェクトにも協力頂いています。さらに同社は、香港、シドニー、東京の私たちのスタッフにオフィススペースを無償で提供して下さいました。そして、同社のグローバル・シチズン・プログラムを通じて支援国チームの能力開発を様々な面で助けて下さっています。

echidna giving エキドナ・ギビングは、ルーム・トゥ・リードのアジアとアフリカでのプログラム、特に女子教育プログラムを支援されています。2015年は識字教育プログラムと女子教育プログラム、および2015~2019年の戦略プランに投資して下さいました。同団体は、革新、分析、知識、システム変換の面で模範となる大切なパートナーです。

FOSSIL FOUNDATION

フォッシル財団は、本来あるべき機会を与えられていない若者に可能性を与えようと尽力している団体です。私たちのインドでの識字教育プログラムを支援され、子ども達の読む力を高めるのに必要な指導とリソースを提供下さいました。ご寄付はチャッティスガル州、ラージャスターン州、ウッタルカンド州の310校での識字教育プログラムを立ち上げる資金として活用させて頂きました。

Goldman Sachs ゴールドマン・サックスおよびゴールドマン・サックス・ギブズ・プログラムを通じて、同社とその上級経営幹部からこれまでに1800万米ドル以上（2015年は300万米ドル以上）のご寄付を頂きました。また同社は、アジアとアフリカにおける私たちの識字教育プログラムと女子教育プログラムにも様々なサポートをされています。

金基氏李
LEE FOUNDATION 李財団はシンガポールで最大かつ最も歴史の長い民間の財団で、基金のほとんどが教育に充てられます。2015年にご支援下さった35万米ドルにより、ルーム・トゥ・リードに多大な貢献をされたシンガポール初の家族財団となりました。この資金はアジアでの女子教育プログラムに活用され、プログラムに参加した少女1,350人が恩恵を受けました。

TP TOWNSEND PRESS

タウンゼント・プレスは独立系の出版社で、小学生から大学生向けの教材の出版に定評があります。この企業が掲げるミッションは、良質で廉価な電子・紙書籍を出版し生徒の識字能力と読書力の向上に貢献すること、読書力を促進できる2米ドルの傑作ペーパーバックシリーズを出版すること、奨学金のスポンサーになること、書籍を学校や地域社会へ寄付することです。2007年より私達のパートナーとして現地語書籍の出版、図書館・図書室の新設、女子教育プログラムといった主要な活動とプログラムにご協力頂いています。

UBS Optimus
Foundation



UBSオブティマス財団は、ルーム・トゥ・リードによるネパール地震の復興支援に110万米ドルを寄付され、その資金はヌワコット郡の学校の修復、および国内での識字教育プログラムと女子教育プログラムの普及に活用させて頂きました。これは緊急性の高い用途に使われるUBSオブティマス・エマージェンシー・レスポンス基金の一部で、災害後の児童教育に役立てられることもあります。



米国農務省(USDA)は、カトリック救援事業会(CRS)へのマクガバン・ドール・フード・フォー・エデュケーション・アワードを通して、ルーム・トゥ・リードのラオスにおける識字教育を支援し、70以上もの図書館・図書室を開設することができました。これらの施設には49,000冊の図書が寄贈された他、26校で識字教育の指導が開始されました。

主要な企業・団体スポンサー(2015/1/1~2015/12/31)

50万米ドル以上のご寄付

アトラシアン財団
バーガーキング基金
クレディ・スイス
エキドナ・ギビング
ゴールドマン・サックス
UBSオブティマス財団
米国農務省
(カトリック救援事業会へのアワード)

250,000 ~ 499,999米ドル

バタース財団
カイロス財団
キャタピラー財団
シティグループ
フォッシル財団
李財団
タウンゼント・プレス

100,000 ~ 249,999米ドル

ブリン・ウォジツキ財団
インド・チャリティ・エイド財団
フォー・エイカー・トラスト
グローバルギビング財団
グーグル
ハッピー・ハーツ・ファンド
ヒルトン・ワールドワイド
インマット財団
ジャージャー・オーバーシーズ・エイド・コミッション

ケンデダ・ファンド
ミリアド・アセット・マネジメント
ペプシコ財団
リライアブル・ソース・インダストリアル・カンパニー (RSI)
セールスフォース財団
センサトインベスターズ
タッチャ
トリップアドバイザー・チャリタブル財団
テュードル財団
ユナイテッドウェイ・ワールドワイド
(ターゲット財団を代表)

50,000 ~ 99,999米ドル

207社
アングロ・アメリカ・チェアマンズ・ファンド
アジア・オルタナティブ
バンク・オブ・アメリカ - BAコンティナム・インド
ベター・ワールド・ブックス
バイオジェン・インターナショナル
センター・フォー・マイクロ・ファイナンス
ダイニング・コンセプツ
ドッジ & コックス
ダウ・ジョーンズ
DTグループ・オブ・カンパニーズ
ユリーカ慈善財団
グリーン・リープス教育振興財団
ホグランド財団
HSBC銀行

マイクロソフト
モンサント財団
ナビタス・エデュケーション・トラスト
ニュークス
サムソン・アジア
セレクト・エクイティ・グループ財団
SJSチャリタブル・トラスト
T.ロウ・プライス財団
東京海上日動火災保険株式会社
米国国際開発庁 (USAID)
米国国際開発庁 (USAID) インド
ウェルズ・ファーゴ
ホワイトヘイブン・コール
Z チューリッヒ基金

物資・サービス寄贈団体

オートデスク
ブック・エンタープライズ
ブックス・フォー・アフリカ
シスコシステムズ
クレディ・スイス
ハードキャッスル・レストラン
(マクドナルド・インド：南西部)
ヒルトン・ワールドワイド
ケッチャム
モエ・ヘネシー
リライアンス・キャピタル
スコラスティック

私たちの財政基盤



世界中の投資家による寛大なサポートがあればこそ、ルーム・トゥ・リードは子どもの人生を変える支援ができます。

私たちは支援パートナー達との関係を尊重し、財政の透明性と説明責任に最大限の努力を払っています。そしてご厚意が効果的に活用されていることも開示しています。この姿勢および成果の継続的な測定・報告によって、皆様の大切なドル、ポンド、ルピー、円を最も有効に役立てていることを証明します。

財務ハイライト



4530万米ドル

現金による支援



420万米ドル

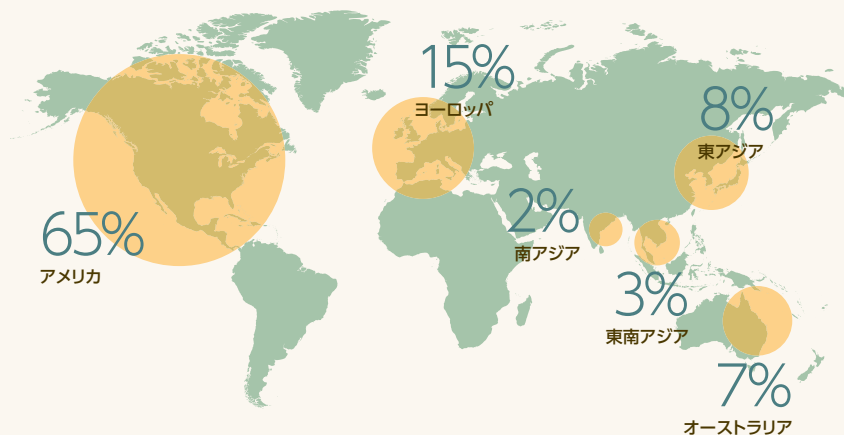
物資・サービスによる寄付



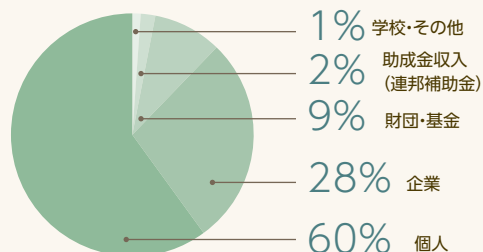
84%

教育プログラムに利用した割合

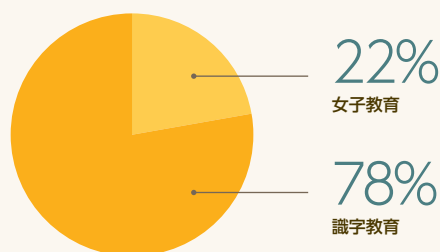
地域別収益源



投資者タイプ別寄付の割合



プログラム別出資内訳



活動報告書

2014年および2015年12月31日まで(米ドル)

支援および収益:	2015	2014
企業	\$12,536,347	\$11,214,658
財団・基金	\$4,172,714	\$2,557,406
個人	\$27,360,176	\$27,301,694
学校・その他	\$490,534	\$1,043,486
寄付合計	\$44,559,771	\$42,117,244
寄付収入	\$708,398	\$813,544
物資・サービスによる寄付	\$4,234,999	\$9,922,253
投資およびその他の収益(損失)、特別なイベント出費、諸費用	\$(609,980)	\$(12,233)
支援および収益合計	\$48,893,188	\$52,840,808

運営経費:	2015	2014
プログラム運営		
識字教育	\$8,862,628	\$6,273,670
女子教育	\$2,581,086	\$2,993,874
学校建設*	N/A	\$3,484,529
図書・物資寄贈	\$2,671,175	\$8,587,695
会議費・旅費・打ち合わせ費	\$2,170,957	\$1,852,692
IT技術費	\$1,177,976	\$891,446
モニタリング・評価	\$94,869	\$322,566
専門家報酬	\$3,024,024	\$1,192,894
プログラム経費	\$2,499,585	\$2,114,252
プログラム人件費	\$17,391,874	\$15,223,265
プログラム運営費合計	\$40,474,174	\$42,936,883
運営・管理費	\$2,375,379	\$2,703,003
資金調達活動	\$5,486,462	\$6,040,120
運営経費合計	\$48,336,015	\$51,680,006

換算調整	-	\$(33,913)
------	---	------------

非拘束純資産の変動	\$1,561,771	\$3,400,452
一時拘束純資産の変動	\$(1,451,374)	\$(2,273,563)
期首非拘束純資産	\$4,088,941	\$688,489
期首一時拘束純資産	\$16,883,133	\$19,156,696
期末純資産	\$21,082,471	\$20,972,074

ルーム・トゥ・リードの財務報告書は、認定を受けた独立公認会計士によって監査されており、ホームページ上でも入手可能です。

*学校建設を需要が増加している「識字教育プログラム」と「女子教育プログラム」と並行して行ったことにより、プログラム実施校の生徒は安全で親しみやすい学習環境を確保できました。このように現在のインフラ費用は独立しておらず、「識字教育プログラム」または「女子教育プログラム」の関連事業としていずれかに計上されます。

理事会および職員



理事会役員

スコット・キャブニック (理事長): HPSインベストメント・パートナーズ CEO

ユスフ・アリゼラ: ノーブル・グループ 元CEO

クレイグ・ブルイェ: マイクロソフト・ビジネス・ソリューションズ 元CFO

メアリー・パイロン: ゴールドマン・サックス 元パートナー

ルイ・クラウチ: インターナショナル・デベロップメント・グループRTI 副社長 兼 最高技術責任者

エリン・ガンジュ: ルーム・トゥ・リード共同創設者 兼 CEO

ジェリー・デルミシエ: コッパー・ストリート・キャピタル 経営執行役会長

キム・アンスタット・モートン: ガール・ライジング 諮問委員

ジョン・リディング: ファイナンシャル・タイムズ・グループ CEO

フランク・ヴァン・ヴィーネンダール: セールスフォース 元取締役副社長

スーザン・ウオジスキ: YouTube 元CEO

ジョン・ウッド: ルーム・トゥ・リード創設者

名誉理事

ヒラリー・バレンタイン (理事長): ブラック & ホワイ ト・デザイン 共同経営者

クリス・ピア: アイアンマーク・ロー・グループ 創設メンバー

ピーター・T・グラアー: グループバーク 会長

ティム・クーグル: Yahoo! 元会長 兼 CEO

アラスデア・マクタガート: エメラルド・ファンド 社長

フェルナンド・ライマーズ博士: ハーバード大学グローバル教育 および 国際教育政策ディレクター

ムニール・サッター: サッター・インベストメント・マネージメント 会長

ジェニー・シリング・ステイン: ドレイパー・リチャード・カプラン財団 共同創設者 兼 相談役

リージョナル・ボード

アジア太平洋

ユスフ・アリゼラ & ディナ・クレイノ・アリゼラ

ダミエン & レベッカ・プロスナン

ケビン・パーク

ベン & アサミ・ファーマガソン

ニール・ハーベイ

カール・ハッテンロッチャー & タミコ・M・リビット

ジョン & カミラ・リンドフォース

アラン & クスチャン・ミヤサキ

ディーター・トゥロウスキ & ローラ・ハワード

ゾルタン & タマラ・ヴァーガ

オーストラリア

スティーブ & キャリー・ベロツティ

マイク & アニー・キャノン・ブルックス

チャールズ & マイル・カーネギー

ブレット & ザウラ・ゴッドフリー

アンドリュー & エマ・グレイ

ジョン & ニコル・キース

デビット・トリプル & ドナ・イップ

マイク & シンシア・ウェラン

ニューヨーク

メアリー・パイロン

ピーター・T・グラアー

ソニー・カルシ

スコット・カブニック

ジャイディープ・カンナ

ステファン・キング

ジョン & ダッドリー・マクファーレン

アーロン・ニーマン

グレブス & コリー・トンブキンス

エリック & シャウナ・ヴァーヴェル

英国

アンドリュー・ボールス & エリカ・ワックス

マリサ・ドリュー

ダグ・ヘンダーソン

エリオ & マリア・レオニ・セティ

スコット・ミード

ジェリー & ジェーン・デルミサー

バトリック & ベネディクト・ド・ノネビル

ジョン・リディング

スチュアート & ジョアンナ・ライリー

ランディ・ワーク

リーダーシップ・チーム

マネジメント・チーム

エリン・ガンジュ: 共同創設者 兼 CEO

リン・フォーデン: 最高国際運営責任者

サリ・フリーマン: 最高財務責任者

レベッカ・ハンキン: マーケティング & 広報担当部長

コリー・ヘイマン: 最高プログラム責任者 兼 ルーム・トゥ・リード・アクセラレーター

ギータ・ムラリ: 最高開発責任者

ヘザー・シンブソン: 最高プログラム責任者

ピエール・タウンズ: 最高人材活用責任者

インターナショナル・ディレクター

スーラヴ・バナジー: インド カントリーディレクター

フィリップ・クリステンセン: 南アフリカ カントリーディレクター

シェヴァンティ・ジャヤスリヤ: スリランカ カントリーディレクター

カール・カーン: カンボジア カントリーディレクター

ティエン・フォン・レー: ベトナム カントリーディレクター

ウダヤ・マナダール: ネパール カントリーディレクター

ラッセル・ムシャンガ: ザンビア カントリーディレクター

ピーター・ムワカワレ: タンザニア カントリーディレクター

ジェフリー・オダガ: アフリカ アソシエイトディレクター

ラクビ・シャーカー: バングラデシュ カントリーディレクター

クリスティ・スコット: アジアディレクター

ディネシュ・シュレスタ: 共同創設者 兼 フィールドオペレーションディレクター

ノーカム・スーパノヴァン: ラオス カントリーディレクター

2016年6月30日現在

技術諮問委員会

私たちは2015年に特別な諮問委員会を発足しました。支援活動の効率・効果を向上させるため、グローバルIT戦略を展開し、かつ重要なパートナーシップを構築することが目的です。2015年、本委員会は、新しい会計システムや顧客管理システムなどの技術ソリューションの開発・展開に寄与しました。私たちの業務を最適化した素晴らしいイニシアチブの開発にあたり、有益なアドバイスを下さった委員会に感謝の意を表します。

ジェームズ・アーネット: カプコ パートナー

アレックス・ペロウス: シスコ財団 エデュケーション・ポートフォリオ・マネージャー

メアリー・バイロン: ゴールドマン・サックス 元パートナー

ダスティン・フレイジャー: ビジネスコンサルタント

マシュー・グローツバック: クイズレット CEO

アンドレア・レシェック: セールスフォース テクノロジーサービス副部長

アンバリッシュ・マルバニー: エドモド 技術副部長

ビブフ・ミッタル: エドモド CEO

ブレット・ロブソン: アトラシアン IT技術管理者

フランク・ヴァン・ヴェンダール: セールスフォース 元取締役副社長

ティム・ウッド: ビル&メリンダ・ゲイツ財団 シニア・プログラム・マネージャー

特別な感謝

ルーム・トゥ・リードの最大の強みはリーダーシップ力、そして各人が使命に注ぎ込む際の専門知識と情熱の深さにあると言えます。理事会のメンバーとして長期にわたって尽力された3人の智恵と能力のおかげで、私たちは飛躍し続けることができました。この場をお借りして、ピーター・グラアー、ティム・クーグル、フェルナンド・ライマーズに感謝します。3人の理事会在任期間は通算17年で、今日のルーム・トゥ・リードがあるのも彼らの貢献の賜物です。長年にわたる功績に深く感謝するとともに、名誉理事として引き続き指導を賜りたいと思います。

ルーム・トゥ・リードの レガシーソサエティ

(遺贈寄付者会)



「理事会役員を退任する身として、自らの遺贈寄付を託し、長年に渡るルーム・トゥ・リードへの貢献をさらに続けていけることを嬉しく思います。皆さんもルーム・トゥ・リードに遺贈寄付を託すことで、世界中の子どもの教育に貢献下さいますようお願い申し上げます」

クレイグ・ブルイエ



レガシーソサエティは、ご遺産をルーム・トゥ・リードへ遺贈されるご意志をお持ちの方々のためのものです。レガシーソサエティの一員としてご自身のストーリーを共有し、私たちに遺贈寄付をお考えの方のロールモデルになって下さい。遺産の譲渡または他の方法での遺贈寄付をご検討の際には、私たちを思い出して頂けると光栄です。

詳細はこちらまでお問い合わせ下さい。tokyo@roomtoread.org.





子どもの教育が世界を変える®

ルーム・トゥ・リード・グローバル・オフィス：サンフランシスコ

デリー、香港、ロンドン、ムンバイ、ニューヨーク、シンガポール、シドニー、東京、チューリッヒ

www.roomtoread.org

japan.roomtoread.org（日本語）

オフィススペースを提供して下さっている下記の企業に感謝いたします：クレディ・スイス（香港、シドニー、東京）、リライアンス・キャピタル（ムンバイ）

写真：カバー、3、11、18：ウィレム・デ・ラング；1、2、3、33：キムロング・メン；3、11、20：ダニエル・ヘイダック；3：サントーシュ・クマー；4：ピーター・スタッキングス；3、17、22：サイカット・モジュダー；3、11、33：ジェyson・ムリキタ；3、9、15：マニッシュ・ブラジャパティ；3、9、10、12、28：ルーム・トゥ・リード；12：ワヒド・アドナン；12：グレナダスクール；12：アン・ホームズ；12：ジアン・パム；12：マラカ・プレマシリ；12、26：プロビシ；12、22：シュート・トゥーヘルプ；12：ケシャブ・トーカー；14、裏表紙：ラタナ・プロエウング；15：ソーリサン・セネサビソーク；16：ディーバック・ブラダン；18：グエン・ミン・デュク；21：ラン・マーフィー；23：ナンシー・ファーセ；24：リズ・ヘイル

デザイン：メラニー・ドハティー・デザイン